

令和4年度第12回 教育委員会会議 会議録

日 時：令和4年12月23日(金) 午後2時00分

場 所：長洲町役場3階 第1委員会室

教育委員：出席4人：坂本教育長職務代理者、隈部委員、徳田委員

：欠席1人 上野委員

教育長：戸越教育長

事務局：松林学校教育課長、松永教育審議員、福田指導主事

案 件：報告第17号 令和4年第4回（令和4年度12月）町議会定例会における一般質問の答弁内容について

報告第18号 12月校長会議について

報告第19号 生徒指導について（非公開）

開会（午後2時00分）

○学校教育課長より

- ・教育委員会議開会の宣言

○教育長より

- ・出席委員定数の報告並びに会議成立の報告
- ・議事日程の確認
- ・会議録署名委員の指名（徳田委員）

報告第17号 令和4年第4回（令和4年度12月）町議会定例会における一般質問の答弁内容について

○学校教育課長及び生涯学習課長説明

○教育委員

配本の利用実績で極端な偏りがあるようだが。

○生涯学習課長

中学校に関しては授業での活用が主でなく、読書としての貸し出しが多いようであり、また調べ学習が図書ではなくネットでの検索等に代わられているのもあるかとは感じているところです。六栄小、腹赤小、清里小に比べ長洲小の利用実績が少ないのは、今後、推進員に聞き取り等をしたと思います。

○教育委員

働き方改革において、数値的な評価は大事だが、現場先生たちの実感はどうか。

○学校教育課長

一般質問された議員も、問題としているのは実態であり、実態を把握する中で数値的

なものを課題として、その課題に対して中身をどうするのが重要だとされていたところでは、私どもとしましては、働き方改革を行う中で、数字的なものを改善するために、中身を変えるべきと捉えており、現場先生らの意識を含め具体的な業務の精査を行いながら、少しでも時間の減少につながるように目標をもって取り組んでいるところです。

○教育委員

数字に表れなくとも、現場の先生たちが楽になったと感じれば、改善したといえるので、今後に期待する。

○教育委員

学校図書の利用実績において、小学生は音読なども楽しんでいるが、それが中学生になるとしぼんでいくという話を耳にする。中学生が読書を楽しんでするような取り組みはしているのか。

○学校教育課長

漫画などに対する制限はあるが、生徒からアンケートを取り、可能なものについては新刊購入などを実施しています。

○教育委員

働き方改革について、業務改善がトップダウンで行われているように感じるが、現場先生方と話し合っ現場から提案できるような環境が必要では。ビルド&スクラップをせずに、以前の業務を残したまま、新しい業務が増えていっているという話を聞いている。

○学校教育課長

先生の業務が増えていく状況でどのように業務改善を行うかについては、ひとつの方法として物的支援があり、校務支援システムの導入といったICT機器の使用等で負担を減らしていけないかと考えています。ただし、先生方の業務量も1人1人で違い、経験や能力も同一ではないので、誰もが使える役立つ機材をもって業務改善につなげたいと考えています。

○教育委員

新型コロナウイルス感染症で教員に欠員が出る場合を含めて、現場の手が足りない。業務とやる気・やりがいのバランスも大事で、それらをいかにカバーしていくかは、今の現場の先生が見せるしかない現状がある。

報告第18号 12月校長会議について

○学校教育課長説明

- ・新型コロナウイルス感染症について
- ・教職員の綱紀の保持及び服務規律の徹底について
- ・長洲町における学力調査等の変更について
- ・令和4年度（2022年度）熊本県公立学校「心のアンケート～楽しい学校生活を送

るために～」の実施について

・令和3年度児童生徒の問題行動・不登校生徒指導上の課題に関する調査結果及びこれを踏まえた対応の充実について

・児童生徒の自殺予防に係る取組について

・令和4年度「児童虐待防止推進月間」の実施について

・冬季休業中の生徒指導について

・その他

○教育委員

学力検査は、何を目的として従来のやり方から変更するのか、説明を願う。

○学校教育課長

小学校を例にとると、「全国学力・学習状況調査」「熊本県学力・学習状況調査」「標準学力調査」の3種で学年・教科・実施時期がずれていたものを、多くの学年と多くの教科で同時期に実施することにより、効率的にすることを目的として変更させていただいたところです。

○教育委員

他の市町村ではどのように実施しているのか。

○指導主事

玉名市では、2教科しか行わない「県学力・学習状況調査」に、理科・社会を組み合わせ、複数教科で実施しています。長洲町では実施時期を統一して、令和5年よりデータ化し、令和6年から経年比較をして具体的に分析するとともに、学力テストと並行して行う各学年へのアンケートによる学習意欲や主体性についてのチェックと併せて、個と全とに応じた指導に活かしていけるように取り入れたいと考えています。

報告第19号 生徒指導について（非公開）

閉会（午後3時49分）